



平成30年8月28日

各位

会社名 株式会社デジタルアドベンチャー
代表者 代表取締役社長 崔 官鎔
(JASDAQ・コード 4772)
問合せ先 管理本部長 大山 智子
TEL 03-6809-6118

(訂正)「支配株主等に関する事項について」の一部訂正について

平成29年3月28日および平成30年3月26日に公表した「支配株主等に関する事項について」に関して、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

(1) 訂正の理由

本日公表の「その他の関係会社の異動に関するお知らせ」並びに(訂正)「主要株主の異動に関するお知らせ」の一部訂正について、その他の関係会社への該当状況について、開示が漏れていたため訂正するものです。

(2) 訂正の内容

① 平成29年3月28日公表

【訂正前】

支配株主等に関する事項について

当社の親会社である株式会社キーイーストについて、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）、その他の関係会社の商号等

(平成28年12月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合			発行する株式が 上場されている 金融商品取引所
		直接所有分	合算対象分	計	
株式会社 キーイースト	親会社(注)	30.81%	—	30.81%	KOSDAQ (韓国)

(注) 株式会社キーイーストは、大株主である同社の取締役4名が当社の取締役であり、支配力基準に基づき親会社としたものであります。

なお、親会社である株式会社キーイーストは継続開示会社等に該当しませんが、同社は韓国KOSDAQに上場しております。

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

(1) 親会社等の企業グループにおける当社の位置付け、親会社等との人的・資本的関係

当社の親会社である株式会社キーイーストは、当社の議決権割合の30.81%を保有しており、また当社の取締役12名のうち、同社の取締役を兼ねる者は4名であり、うち2名は同社の代表取締役であり、また当社の代表取締役社長は同社の取締役を兼任しております。

同社は、韓国国内においてアーティストなどのマネジメント事業、ライセンス事業、映像コンテンツの企画・制作、イベント・公演およびメディアプラットフォーム事業などを中核事業として展開しており、当社は日本国内において同事業を展開しております。

(役員の兼務状況)

(平成29年3月28日現在)

役職	氏名	親会社等 での役職	就任理由
代表取締役社長	崔 官鎔	取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため
代表取締役副社長	申 弼淳	代表取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため
取締役	裴 聖雄	代表取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため
取締役	梁 根煥	取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため

(2) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスクおよびメリット

当社は、同社と同事業を行なっておりますが、当社は日本国内において同社が保有するコンテンツ等を利用して独自の事業を行なっており、コンテンツ提供等の相互協力体制を構築することで、グループ全体へのシナジー効果を高めていくことを目指しております。また、事業活動の多くは当社および同社と資本関係等を有しない一般企業および個人との取引となっており、営業取引における親会社等の企業グループへの依存度は、当社の自由な事業活動を妨げる状況にはないと考えております。

(3) 親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方およびそのための施策

当社は、同社と協力関係を保ちながら事業展開する方針であります。同社の兼任取締役の就任状況は独自の経営判断を妨げるものではありません。また、親会社等から独立し利益相反の生じる恐れのない社外取締役も含め、独自に意思決定して事業を行なっており、一定の独立性は確保されているものと認識しております。

3. 支配株主等との取引に関する事項

当連結会計年度（自平成28年1月1日 至平成28年12月31日）

種類	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の 内容又 は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当 事者との 関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
親会社	㈱キー ー ースト	大韓 民国 ソウル 市	7,745 百万 ウォン	エンター テイ ンメント 事業 及び MDライ セン シング事 業	(被所有) 直接 30.81	役員 の 兼任 4名 コン テ ンツ 仕入 融資	ロイヤリティ (注) 2(1)	58,573	関係会社 短期貸付金	30,000
							受取利息 (注) 2(2)	2,470	関係会社 長期貸付金	70,000
									未収収益	2,896

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1) コンテンツ仕入、業務委託等については、独立した第三者間の取引を勘案し、交渉の上決定しております。

(2) 貸付利率については、市場金利を参考に交渉の上決定しております。

4. 支配株主等との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

コーポレート・ガバナンス報告書の「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」に定めるとおり、同社との取引等に関しては、親会社から独立した立場の社外取締役が参加する取締役会において、契約内容、契約金額およびその決定方法を第三者との取引条件と比較検討し、審議の上決議しております。

【訂正後】

支配株主等に関する事項について

当社の親会社である株式会社キーイーストおよびその他の関係会社である株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパンについて、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）、その他の関係会社の商号等

(平成28年12月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合			発行する株式が 上場されている 金融商品取引所
		直接所有分	合算対象分	計	
株式会社 キーイースト	親会社(注)	30.81%	—	30.81%	KOSDAQ (韓国)
株式会社エスエム・エンタ テインメント・ジャパン	その他の 関係会社	19.42%	—	19.42%	—

(注) 1. 株式会社キーイーストは、大株主である同社の取締役4名が当社の取締役であり、支配力基準に基づき親会社としたものであります。

2. 株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパンは、当社がファンクラブ運営業務を受託したことで同社がファンクラブ事業の重要な取引先となり、影響力基準に基づきその他の関係会社としたものであります。

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

(1) 親会社等の企業グループにおける当社の位置付け、親会社等との人的・資本的関係

株式会社キーイースト

当社の親会社である株式会社キーイーストは、当社の議決権割合の30.81%を保有しており、また当社の取締役12名のうち、同社の取締役を兼ねる者は4名であり、うち2名は同社の代表取締役であり、また当社の代表取締役社長は同社の取締役を兼任しております。

同社は、韓国国内においてアーティストなどのマネジメント事業、ライセンス事業、映像コンテンツの企画・制作、イベント・公演およびメディアプラットフォーム事業などを中核事業として展開しており、当社は日本国内において同事業を展開しております。

株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパン

その他の関係会社である株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパンは、当社の議決権割合の19.42%を保有しており、また当社の取締役12名のうち、同社の取締役を兼ねる者は1名であります。また、当社は同社とファンクラブ運営業務受託の取引があります。

(役員兼務状況)

(平成29年3月28日現在)

役職	氏名	親会社等 での役職	就任理由
代表取締役社長	崔 官鎔	取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため
代表取締役副社長	申 弼淳	代表取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため
取締役	裴 聖雄	代表取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため
取締役	梁 根煥	取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため
取締役	金 英敏	取締役	その他の関連会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため

(2) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスクおよびメリット

株式会社キーイースト

当社は、同社と同事業を行なっておりますが、当社は日本国内において同社が保有するコンテンツ等を利用して独自の事業を行なっており、コンテンツ提供等の相互協力体制を構築することで、グループ全体へのシナジー効果を高めていくことを目指しております。また、事業活動の多くは当社および同社と資本関係等を有しない一般企業および個人との取引となっており、営業取引における親会社等の企業グループへの依存度は、当社の自由な事業活動を妨げる状況にはないと考えております。

株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパン

当社は、同社と同事業を行なっており、同社に所属するアーティストファンクラブの運営業務を受託しております。取引においては、定期的な価格交渉の上で決定しており、当社の自由な事業活動を妨げる状況にはないと考えております。

(3) 親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方およびそのための施策

株式会社キーイースト

当社は、同社と協力関係を保ちながら事業展開する方針であります。同社の兼任取締役の就任状況は独自の経営判断を妨げるものではありません。また、親会社等から独立し利益相反の生じる恐れのない社外取締役も含め、独自に意思決定して事業を行なっており、一定の独立性は確保されているものと認識しております。

株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパン

当社は、同社に所属するアーティストファンクラブの運営業務を受託しております。取引においては、定期的な価格交渉の上で決定しており、事業運営上の独立性は十分に確保されていると判断しております。

3. 支配株主等との取引に関する事項

当連結会計年度（自平成28年1月1日 至平成28年12月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	㈱キーイースト	大韓民国ソウル市	7,745百万ウォン	エンターテインメント事業及びMDライセンス事業	(被所有) 直接 30.81	役員の内兼任4名 コンテンツ仕入 融資	ロイヤリティ(注)2(1) 受取利息(注)2(2)	58,573 2,470	関係会社 短期貸付金 関係会社 長期貸付金 未収収益	30,000 70,000 2,896
その他の関係会社	㈱エスエム・エンタテインメント・ジャパン	東京都港区	50百万円	エンターテインメント事業	(被所有) 直接 19.42	ファンクラブ運営業務受託	契約金の支払(注)2(1)	500,000	前渡金	540,000

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1) コンテンツ仕入、業務委託等については、独立した第三者間の取引を勘案し、交渉の上決定しております。

(2) 貸付利率については、市場金利を参考に交渉の上決定しております。

4. 支配株主等との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

コーポレート・ガバナンス報告書の「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」に定めるとおり、二社との取引等に関しては、二社から独立した立場の社外取締役が参加する取締役会において、契約内容、契約金額およびその決定方法等を第三者との取引条件と比較検討し、審議の上決議しております。

② 平成30年3月26日公表

【訂正前】

支配株主等に関する事項について

当社の親会社である株式会社キーイーストについて、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）、その他の関係会社の商号等

（平成29年12月31日現在）

名称	属性	議決権所有割合			発行する株式が 上場されている 金融商品取引所
		直接所有分	合算対象分	計	
株式会社 キーイースト	親会社(注)	30.8%	—	30.8%	KOSDAQ（韓国）

（注）株式会社キーイーストは、大株主である同社の取締役4名が当社の取締役であり、支配力基準に基づき親会社としたものであります。

なお、親会社である株式会社キーイーストは継続開示会社等に該当しませんが、同社は韓国KOSDAQに上場しております。

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

（1）親会社等の企業グループにおける当社の位置付け、親会社等との人的・資本的关系

当社の親会社である株式会社キーイーストは、当社の議決権割合の30.8%を保有しており、また当社の取締役12名のうち、同社の取締役を兼ねる者は4名であり、うち2名は同社の代表取締役であり、また当社の代表取締役社長は同社の取締役を兼任しております。

同社は、韓国国内においてアーティストなどのマネジメント事業、ライセンス事業、映像コンテンツの企画・制作、イベント・公演およびメディアプラットフォーム事業などを中核事業として展開しており、当社は日本国内において同事業を展開しております。

（役員¹の兼務状況）

（平成30年3月26日現在）

役職	氏名	親会社等 での役職	就任理由
代表取締役社長	崔 官鎔	取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため
代表取締役	申 弼淳	代表取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため
取締役	裴 聖雄	代表取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため
取締役	梁 根煥	取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため

（2）親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスクおよびメリット

当社は、同社と同事業を行なっておりますが、当社は日本国内において同社が保有するコンテンツ等を利用して独自の事業を行なっており、コンテンツ提供等の相互協力体制を構築することで、グループ全体へのシナジー効果を高めていくことを目指しております。また、事業活動の多くは当社および同社と資本関係等を有しない一般企業および個人との取引となっており、営業取引における親会社等の企業グループへの依存度は、当社の自由な事業活動を妨げる状況にはないと考えております。

(3) 親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方およびそのための施策

当社は、同社と協力関係を保ちながら事業展開する方針であります。同社の兼任取締役の就任状況は独自の経営判断を妨げるものではありません。また、親会社等から独立し利益相反の生じる恐れのない社外取締役も含め、独自に意思決定して事業を行っており、一定の独立性は確保されているものと認識しております。

3. 支配株主等との取引に関する事項

当事業年度（自平成29年1月1日 至平成29年12月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	㈱キーイースト	大韓民国ソウル市	7,745百万ウォン	エンターテインメント事業及びMDライセンス事業	(被所有)直接30.8	コンテンツ仕入融資役員兼任4名	ロイヤリティ(注)2(1) 受取利息(注)2(2)	92,656 1,438	関係会社 短期貸付金	20,000

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1) コンテンツ仕入等については、独立した第三者間の取引を勘案し、定期的な価格交渉の上決定しております。

(2) 貸付利率については、市場金利を参考に交渉の上決定しております。

4. 支配株主等との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

コーポレート・ガバナンス報告書の「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」に定めるとおり、同社との取引等に関しては、親会社から独立した立場の社外取締役が参加する取締役会において、契約内容、契約金額およびその決定方法等を第三者との取引条件と比較検討し、審議の上決議しております。

【訂正後】

支配株主等に関する事項について

当社の親会社である株式会社キーイーストおよびその他の関係会社である株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパンについて、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）、その他の関係会社の商号等

(平成29年12月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合			発行する株式が上場されている金融商品取引所
		直接所有分	合算対象分	計	
株式会社キーイースト	親会社(注)	30.80%	—	30.80%	KOSDAQ (韓国)
株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパン	その他の関係会社	19.42%	—	19.42%	—

(注) 1. 株式会社キーイーストは、大株主である同社の取締役4名が当社の取締役であり、支配力基準に基づき親会社としたものであります。

2. 株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパンは、当社がファンクラブ運営業務を受託したことで当社がファンクラブ事業の重要な取引先となり、影響力基準に基づきその他の関係会社としたものであります。

なお、親会社である株式会社キーイーストは継続開示会社等に該当しませんが、同社は韓国KOSDAQに上場しております。

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

(1) 親会社等の企業グループにおける当社の位置付け、親会社等との人的・資本的關係

株式会社キーイースト

当社の親会社である株式会社キーイーストは、当社の議決権割合の30.80%を保有しており、また当社の取締役12名のうち、同社の取締役を兼ねる者は4名であり、うち2名は同社の代表取締役であり、また当社の代表取締役社長は同社の取締役を兼任しております。

同社は、韓国国内においてアーティストなどのマネジメント事業、ライセンス事業、映像コンテンツの企画・制作、イベント・公演およびメディアプラットフォーム事業などを中核事業として展開しており、当社は日本国内において同事業を展開しております。

株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパン

その他の関係会社である株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパンは、当社の議決権割合の19.42%を保有しており、また当社の取締役12名のうち、同社の取締役を兼ねる者は1名であります。また、当社は同社とファンクラブ運営業務受託の取引があります。

(役員の時務状況)

(平成30年3月26日現在)

役職	氏名	親会社等での役職	就任理由
代表取締役社長	崔 官鎔	取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため
代表取締役	申 弼淳	代表取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため
取締役	裴 聖雄	代表取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため
取締役	梁 根煥	取締役	親会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため
取締役	金 英敏	取締役	<u>その他の関連会社との経営情報の共有と経営に関する助言を得るため</u>

(2) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスクおよびメリット

株式会社キーイースト

当社は、同社と同事業を行なっておりますが、当社は日本国内において同社が保有するコンテンツ等を利用して独自の事業を行なっており、コンテンツ提供等の相互協力体制を構築することで、グループ全体へのシナジー効果を高めていくことを目指しております。また、事業活動の多くは当社および同社と資本関係等を有しない一般企業および個人との取引となっており、営業取引における親会社等の企業グループへの依存度は、当社の自由な事業活動を妨げる状況にはないと考えております。

株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパン

当社は、同社と同事業を行なっており、同社に所属するアーティストファンクラブの運営業務を受託しております。取引においては、定期的な価格交渉の上で決定しており、当社の自由な事業活動を妨げる状況にはないと考えております。

(3) 親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方およびそのための施策

株式会社キーイースト

当社は、同社と協力関係を保ちながら事業展開する方針ではありますが、同社の兼任取締役の就任状況は独自の経営判断を妨げるものではありません。また、親会社等から独立し利益相反の生じる恐れのない社外取締役も含め、独自に意思決定して事業を行なっており、一定の独立性は確保されているものと認識しております。

株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパン

当社は、同社に所属するアーティストファンクラブの運営業務を受託しております。取引においては、定期的な価格交渉の上で決定しており、事業運営上の独立性は十分に確保されていると判断しております。

3. 支配株主等との取引に関する事項

当事業年度（自平成29年1月1日 至平成29年12月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容又は職業	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	㈱キーイースト	大韓 民国 ソウル 市	7,745 百万 ウォン	エンターテインメント 事業 及び MDライセンス 事業	(被所有) 直接 30.80	コンテ ンツ 仕入 融資 役員の 兼任 4名	ロイヤリティ (注) 2(1) 受取利息 (注) 2(2)	92,656 1,438	関係会社 短期貸付金	20,000
その他 の関係 会社	㈱エスエ ム・エン タテイン メント・ ジャパン	東京都 港区	50百万円	エンターテイ ンメント 事業	(被所有) 直接 19.42	ファン クラブ 運営業 務受託 役員の 兼任 1名	ロイヤリティ の支払 (注) 2(1)	183,746	買掛金	334,139

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1) コンテツ仕入、ロイヤリティの支払等については、独立した第三者間の取引を勘案し、定期的な価格交渉の上決定しております。

(2) 貸付利率については、市場金利を参考に交渉の上決定しております。

4. 支配株主等との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

コーポレート・ガバナンス報告書の「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」に定めるとおり、二社との取引等に関しては、二社から独立した立場の社外取締役が参加する取締役会において、契約内容、契約金額およびその決定方法等を第三者との取引条件と比較検討し、審議の上決議しております。

以上